

7月の月間目標

おてつだいをしよう!

～お手伝いができたことに「頑張ったね」「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えましょう～

子どもは、3～4歳ごろになるとままごとなどで親のしていることを真似するだけでなく、実際の家事に興味をもつようになります。この時こそ、子どもがお手伝いを始めるチャンスです。子どもがお手伝いをしたと思ったら、それをさせてあげるようにしましょう。初めは、やり方を教えながら親子で一緒にやってみましょう。年齢が進めば、子どもが一人ですのを見守ってみましょう。初めは上手くできなくて、親がするほうが早いと思うかもしれませんが、そこはぐっとがまんしてください。子どもは、お手伝いを通して、自分で考え、時間を管理し、役割を果たすことを学びます。それは子どもの「生きる力」となり、自立への第一歩となります。

そして、お手伝いができたら、「頑張ったね」「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えましょう。子どもは、家族の一員として役に立ったという喜びと、目標を達成できた満足感を味わい、自己有用感を育てていきます。



幼児がしているお手伝いは…

- おもちゃの片付け
- 玄関の靴並べ
- ポスト(新聞・郵便)チェック
- 食器並べや片付け
- 洗濯物の取り入れ
- 風呂掃除
- きょうだいの世話 など



(H30「元気なならっ子約束運動」
保護者アンケートから)

なつやすみ やってみよう! おてつだい

おうちの人と相談して、
自分のお手伝いを決めてや
ってみましょう! どんなお
手伝いができるかな?

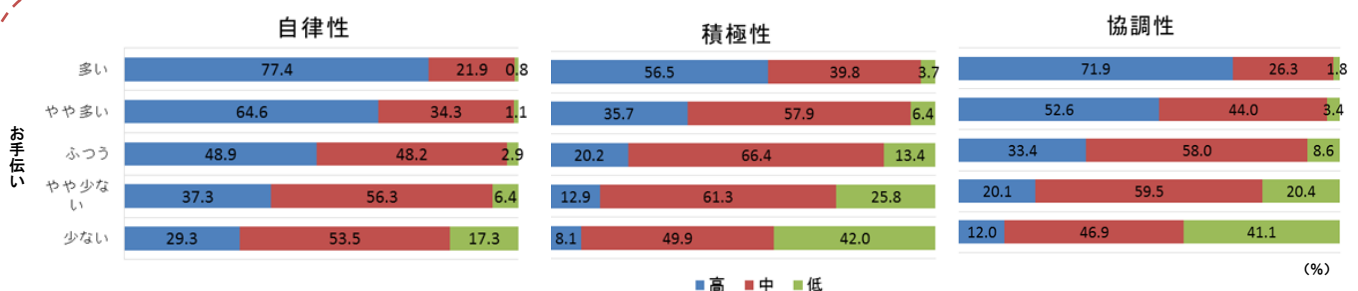


小学生がしているお手伝いは…

- 配膳 ○食事づくり
- 風呂掃除
- ゴミ出し
- 植物の水やり
- ペットの世話
- 買い物
- 靴並べや靴磨き など



(参考:国立青少年教育振興機構「青少年の
体験活動等に関する意識調査(H28)」)



上のグラフは、国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(H28)」において、お手伝いと自立的行動習慣の関係について調査したものです。これによると、日頃から「お手伝い」を多く行っている子どもは、自律性・積極性・協調性といった自立的行動習慣が身に付いている傾向があることが分かりました。



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日」
(いきいきセンター)です

奈良県立教育研究所



(令和元年7月)
家庭教育Webページ